

世界に誇れる川崎を目指して

自民党川崎支部連合会青年局長 矢沢たかお

私はこの川崎市宮前区で生まれ育ち、大学卒業後は進化の早いIT分野への可能性とグローバル環境で仕事ができることに魅力を感じ、商社系IT企業に入社し、縁あつて再び地元宮前に戻ることとなりました。

私が考える川崎の目指すべき姿は大きく3つ。

①世界に通じる力強い産業都市②誰もが安心・安全に暮らせるまち③愛情と誇りがもてるふるさとです。

この3つを目指すことで、「人財が定着し、持続可能な社会を形成する」ことができると思っています。

では実際に何が必要なのか。私は4つの『推進』をするべきだと考えます。

また川崎市には農家の方々が育んだ自然があり、閑静な住宅街があり、にぎやかな都市部や臨海部のエネルギー地、企業も多数存在しています。これは日本の縮図、世界の縮図ともいえます。それだけに抱える課題は世界の先進国が抱えているものと同様。この課題解決を進め、国内外に発信することで、世界が注目する『川崎』として市民の皆さんが誇れるまちづくりができると思っています。

1つ目が「子供を産み、育てるということを安心して行えるまちづくり」の推進です。2つ目が「支援体制充実を進め、お年寄りや障害者が安心して暮らせるまちづくり」の推進。3つ目が「交通網の充実と地域防災力の強化を進め、便利で安心して暮らせるまちづくり」の推進。4つ目が「地域の文化・歴史を大切にし、自分のまちに愛情と誇りが持てるまちづくり」の推進です。この4つの充実が川

今、私が考える川崎の課題などはホームページに掲載しています。ご意見等もお気軽にお寄せください。



矢沢たかお

●昭和60年8月28日 ●川崎市宮前区初山生まれ(29歳)
川崎市立官生小学校卒業/川崎市立官生中学校卒業
/法政大学第二高等学校卒業/法政大学情報科学部
コンピュータ科卒業/伊藤忠テクノソリューションズ(株)

<http://yazawa-t.jp/>